

授業科目名	公衆衛生看護学実習 I		担当教員	◎鶴岡 章子、川上 裕子、 佐々木 亜希子	科目ナンバリング NP406
選択	開講年次：4年前期	単位：3単位	授業形態：臨地実習135時間		

### 【授業概要】

南房総地域の市町を実習フィールドとする。主に市町保健センターを拠点にして、既存資料を用いてに実施した地域アセスメント(公衆衛生看護活動展開論演習)をもとに市町の保健医療福祉行政の機能および地域の健康課題に対する対策について見学や参加を通して理解を深める。併せて、市や町の行政機関において地域住民の健康支援を行う保健師の役割と機能を理解するとともに、専門性にに基づいた保健師活動の基本的実践能力を養う。

### 【達成目標】

1. 地域の特性や住民の生活実態を理解し、健康課題を把握できる。
2. 市町村が実施しているライフステージごとの保健事業と、事業の根拠となる法令・制度、各事業における保健師の役割を理解できる。
3. 対象および家族のセルフケア能力向上を目指し、家庭訪問における保健指導の一部を実践できる。
4. 市町村における保健師の配置とそれぞれの部署、行政組織で果たす役割、および他職種・機関との連携・協働について、事例をとおして理解できる。
5. 保健師としての基本的態度を養う。

### 【履修条件】

3年後期までに開講されている保健師教育の必修科目を履修していること。

### 【授業計画】

実習1日目	オリエンテーション
実習2～5日目	施設実習
実習6日目	学内実習
実習7～14日目	施設実習
実習15日目	実習のまとめ(学内)

### 【教科書】

荒賀直子他(2022). 公衆衛生看護学.jp 第5版(データ更新版)、インターメディカル、公衆衛生看護学に関わる科目で使用した教科書

### 【参考書】

公衆衛生看護学に関わる科目で使用した参考書、資料

### 【評価方法・評価基準】

実習目標への到達度70%、課題レポート20%、カンファレンス・プレゼンテーション10%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：公衆衛生看護学に関する科目での学びを復習して実習に臨む。実習計画に沿って計画的に資料・媒体等の準備を行う(2時間)。

事後学習：1日の実習終了後に各自の学びを省察し記述する。学修内容を整理し課題レポートを作成する(2時間)。

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習に関わる記録は、学生個人に返却する。

### 【備考】

各実習機関・施設においては、地域住民の生活に密着した活動を展開している看護専門職による、具体的かつ直接的な指導を受けながら学びを深めることができる。

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目

保健師教育課程の履修許可を得た学生のみ履修可能

保健師として、もしくは看護師として5年以上の臨床経験をもつ教員が指導する。